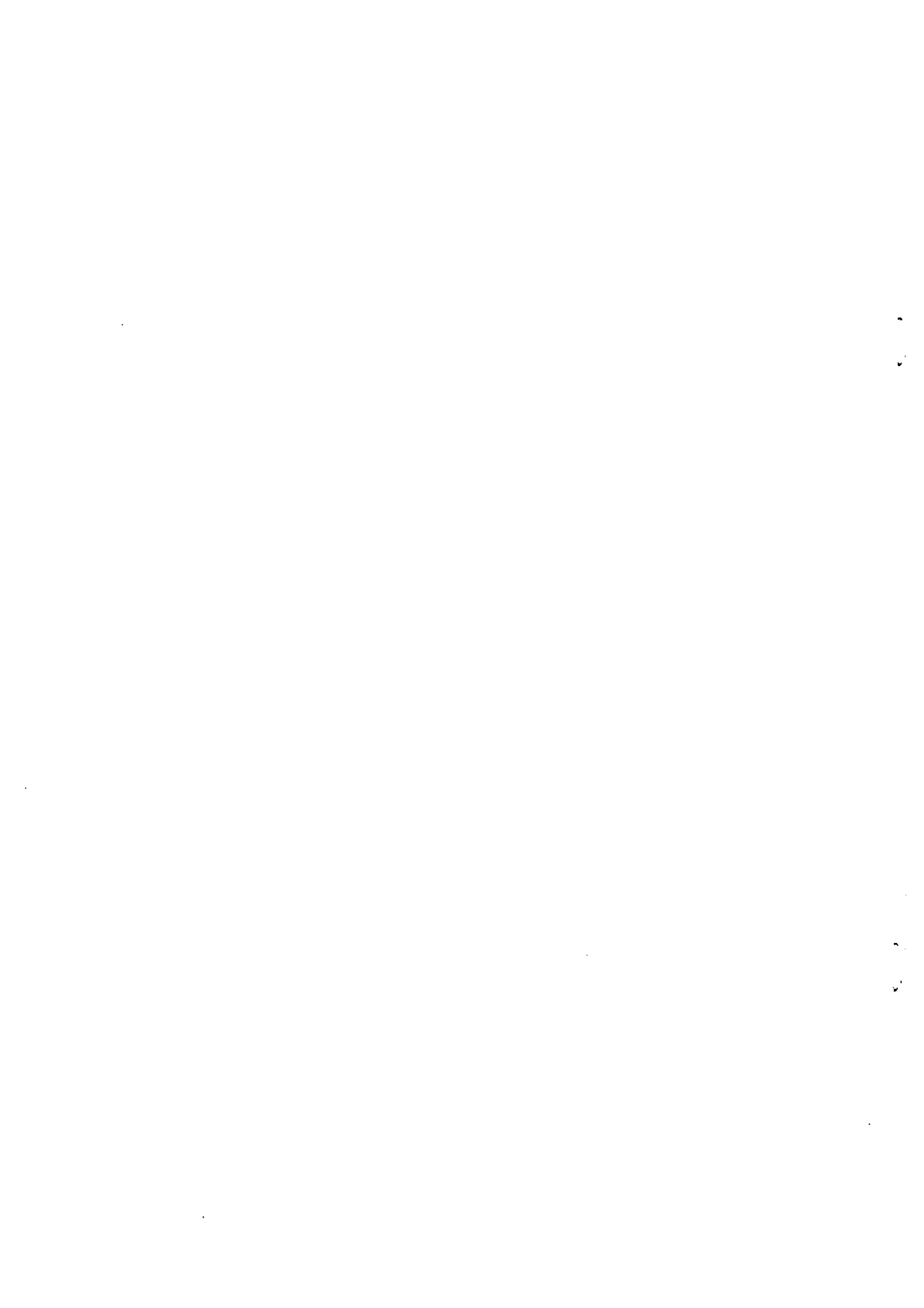


農林水産商工常任委員会資料

(平成29年10月6日)

項 目	ページ
1 BCP（事業継続計画）シンポジウムの開催について 【商工政策課】……………1	1
2 尾池パックマテリアル株式会社の工場増設に係る調印式の実施について 【立地戦略課】……………2	2
3 平成29年度鳥取県技能振興フェアの開催について【労働政策課】……………4	4

商 工 労 働 部



BCP（事業継続計画）シンポジウムの開催について

平成29年10月6日
商工政策課

昨年10月21日に発生した鳥取県中部地震から1年を経過するのを踏まえ、地震の際の県内事業者の事業継続対応を振り返り、事業者が今後行うべき備え等について考えていただくため、BCP（事業継続計画）シンポジウムを以下のとおり開催します。

記

- 1 名称 BCP（事業継続計画）シンポジウム
～鳥取県中部地震から1年を振り返って～
 - 2 日時 平成29年10月26日（木） 午後1時～3時
 - 3 場所 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール（倉吉市駄経寺町187番地）
 - 4 主催 鳥取県
 - 5 共催 セコム山陰（株）、県と包括連携協定を締結している3社（東京海上日動火災保険（株）、損害保険ジャパン日本興亜（株）、三井住友海上火災保険（株））
 - 6 内容
 - (1) 主催者挨拶
 - (2) 基調講演
「大災害を乗り越えた中小企業のBCP
～災害時に企業が直面する様々な課題と対応方法を取材事例から紹介～」
講師：（株）新建新聞社 取締役・危機管理メディア事業部長 中澤 幸介 氏
平成19年に危機管理とBCPの専門誌『リスク対策.com』を創刊。200社を超えるBCPの事例を取材。
 - (3) パネルディスカッション
「非常時への備えとBCPの取り組みのポイント」
コーディネーター：セコム山陰（株） 営業企画室長 中谷 典正 氏
パネリスト：（株）寺方工作所 代表取締役社長 寺方 泰夫 氏【北栄町、製造業】
（株）井中組 品質管理室長 松村 弘己 氏【倉吉市、建設業】
（社福）敬仁会 ※登壇者調整中【倉吉市、介護老人福祉施設】
コメンテーター：中澤 幸介 氏
 - (4) 県のBCP支援施策の紹介
- (参考) シンポジウム終了後、県と包括連携協定を締結している上記3社により分科会を開催する。
主な内容：BCP策定ワークショップ 参加体験型によるBCPの策定
BCP訓練セミナー 座学及び参加体験型によるBCPの図上訓練等の意義、手法
BCPシミュレーション 地震発生後、半日間の体験シミュレーション

※BCP（事業継続計画、business continuity Plan）とは、企業が自然災害やテロなどの緊急事態においても中核となる事業の継続または早期復旧を可能とするために、事前に準備しておくべき事項や緊急時の対応方法などを定めた計画のこと。

尾池パックマテリアル株式会社の工場増設に係る調印式の実施について

平成29年10月6日
立地戦略課

尾池工業株式会社グループの「尾池パックマテリアル株式会社」（本社：京都市）が、食品包装用蒸着フィルム製品の増産及び生産性向上等を図るため、倉吉事業場の増設を行うこととなり、これを支援する鳥取県及び倉吉市との間で下記のとおり協定書の調印を行いました。

1 企業概要

- (1) 企業名 尾池パックマテリアル株式会社 ※尾池工業株式会社の100%子会社
- (2) 所在地 京都府京都市南区上鳥羽南塔ノ本町8番地1
- (3) 代表者 代表取締役 尾池 均（おいけ ひとし）
- (4) 資本金 40,000千円
- (5) 従業員数 80名（倉吉事業場30名）
- (6) 事業内容 食品包装用蒸着フィルム製品を中心とした包装部材の開発、製造、販売
※蒸着フィルム：アルミ等を加熱し、蒸発・気化させ、フィルムに薄膜形成させたもので、主にスナック包装の裏面等に活用される。

（尾池工業株式会社グループについて）

- (1) 企業名 尾池工業株式会社
- (2) 所在地 京都市下京区仏光寺通西洞院西入ル木賊山町181番地
- (3) 代表者 代表取締役 尾池 均（おいけ ひとし）
- (4) 事業内容 プラスチックフィルムの表面加工製品および二次加工製品の製造販売
- (5) 関連会社 尾池アドバンスフィルム株式会社、尾池ファインコーティング株式会社、尾池テック株式会社、尾池イメージング株式会社、尾池パックマテリアル株式会社 他（グループ全体の従業員数650名）

※倉吉事業場には、尾池工業株式会社、尾池パックマテリアル株式会社のほか、尾池ファインコーティング株式会社、尾池イメージング株式会社が立地している。

- (6) 主要拠点 京都市、倉吉市、東京都、上海、パリ

【今後の見通し】

- ・価格競争等厳しさを増す食品包材市場のなかにあっても、食品包装用蒸着フィルムは、引き続き堅調な需要増が見込まれており、倉吉事業場において、コスト競争力のアップ（新たな生産プロセスも導入等）や高品質対応、衛生管理の強化等に取り組むことにより、シェア拡大及び競争力の維持が図られることが見込まれる。

2 投資計画概要

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| (1) 立地場所 | 鳥取県倉吉市秋喜282番地8（西倉吉工業団地内） |
| (2) 工場名 | 尾池パックマテリアル株式会社 倉吉事業場 |
| (3) 投資額 | 約13億円程度（建物5.5億円、設備機器（リース含む）7.5億円） |
| (4) 雇用計画 | 24名（京都事業場） |
| (5) 操業開始 | 平成30年5月（予定） |

3 企業立地支援の見込み

鳥取県企業立地事業補助金 約3億円

（25%：基本補助率10%＋戦略的推進分野5%＋拠点集約5%＋リスク分散5%）

※その他県及び倉吉市より正規雇用創出奨励金による支援を予定している。

4 調印式

- (1) 日時 平成29年9月27日（水）
午後1時～1時45分
- (2) 場所 知事公邸 第1応接室
- (3) 出席者 尾池パックマテリアル株式会社
代表取締役 尾池 均
倉吉市 市長 石田 耕太郎
鳥取県 知事 平井 伸治



協 定 書

尾池パックマテリアル株式会社（以下「甲」という。）、鳥取県（以下「乙」という。）及び倉吉市（以下「丙」という。）は、甲の工場等の増設（以下「増設事業」という。）について次のとおり協定する。

第1条 甲は、別紙1のとおり増設事業を行うものとする。

第2条 乙及び丙は、前条に定める増設事業が支障なく円滑に行われるよう、誠意をもって協力するものとする。

第3条 甲は、増設事業にあたり、法令等の規定を遵守し、特に工場の設置、運営等に当たっては、公害の発生防止と周辺環境の保全に努めるものとする。

第4条 甲は、従業員の採用に当たっては、倉吉市在住者を中心として、鳥取県内在住者及び鳥取県内へのUIJターン者の積極的な採用に努めるものとする。

2 乙及び丙は、甲の人材確保に当たっては、誠意をもって協力するものとする。

第5条 甲は、事業に当たっては、鳥取県内企業への受発注に努めるものとし、また、操業開始後においても、鳥取県内企業との積極的な取引に努めるものとする。

第6条 甲が別紙1のとおり行う増設事業に対し、乙及び丙は、別紙2に定める支援を行うものとする。

第7条 甲、乙及び丙は、この協定に定める事業を実施する上で知り得た他の当事者の営業、人事、技術その他の業務上の機密（以下「機密情報」という。）を保持するものとし、第三者に開示し、又は漏えいしてはならない。ただし、機密情報を開示しようとする者があらかじめ書面により当該機密情報を保有する他の当事者の同意を得た場合は、この限りでない。

第8条 この協定に定める事項について疑義が生じたとき、及びこの協定に定めのない事項については、甲、乙及び丙が協議して定めるものとする。

上記のとおり協定した証として、本書3通を作成し、甲、乙及び丙がそれぞれ署名押印の上、各自その1通を保有し、信義を重んじ誠実にこの協定を履行するものとする。

平成29年 9月27日

甲 京都府京都市南区上鳥羽南塔ノ本町8番地1

尾池パックマテリアル株式会社 代表取締役 尾池 均

乙 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地 鳥取県 鳥取県知事 平井伸治

丙 鳥取県倉吉市葵町722番地 倉吉市 倉吉市長 石田 耕太郎

(別紙1)

増設計画概要

- | | |
|----------|---|
| 1 事業所の名称 | 尾池パックマテリアル株式会社 倉吉事業場 |
| 2 所在地 | 倉吉市秋喜282番地8 |
| 3 事業開始 | 平成30年5月(予定) |
| 4 事業内容 | 倉吉事業場における食品包装用蒸着フィルム製品の増産及び生産性向上等に伴う新工場建設 |
| 5 雇用計画 | 24名 |

(別紙2)

1 鳥取県の支援

鳥取県企業立地等事業助成条例（平成25年鳥取県条例第8号）に基づく支援

働くぞ！頑張る企業を応援する鳥取県正規雇用創出奨励金支給要領（平成23年4月1日制定）に基づく支援

2 倉吉市の支援

倉吉市企業立地促進事業助成規則（平成26年倉吉市規則第2号）に基づく支援

平成29年度鳥取県技能振興フェアの開催について

平成29年10月6日
雇用人材局労働政策課

県内の技能関係団体・関係者が、県民の皆様に対し、生活につながる技能の大切さを再発見していただくために優れた匠の技を披露する実演や、家族で楽しめるものづくり体験教室等を行う「鳥取県技能振興フェア」が、下記のとおり開催されます。

また、「優れた技能者鳥取県知事表彰」等の表彰式典も併せて開催し、技能尊重機運の醸成を図ります。

- 1 日時 平成29年10月29日（日） 午前9時30分～午後3時30分
- 2 場所 コカ・コーラウエストスポーツパーク 鳥取県民体育館（鳥取市布勢146-1）
- 3 主催 鳥取県職業能力開発協会
- 4 後援 鳥取県 鳥取県技能士会連合会
- 5 来場者（予定） 2,000名程度（H28年度実績：1,600名）
- 6 内容

（1）表彰式典

広く社会一般に技能尊重機運を浸透させ、技能者の地位及び技能水準の向上並びに技能検定の一層の振興を図ることを目的とし、優れた技能を有する者等を表彰する。

表彰の種類	表彰の概要
優れた技能者鳥取県知事表彰	左官、日本調理といった表彰に係る分野において、県内屈指の優れた技能を有すると目される者（過去164名受賞）
技能検定事業功労者及び協力事業所等鳥取県知事表彰	
功労者	技能検定委員等の職務に永年従事した者（過去145名受賞）
協力事業所等	技能検定の受検勸奨への積極的な協力、試験施設・設備の提供等により、技能検定事業の推進に支援協力した事業所・団体（過去73事業所・団体受賞）
技能五輪全国大会及び技能グランプリ入賞者	左記競技大会に入賞し、本県における技能尊重機運の高揚と技能水準の向上に貢献した者（過去50名受賞）
技能検定成績優秀者	技能検定試験において、特に優秀な成績を修めた者（過去188名受賞）

※その他、技能検定功労者等に対する鳥取県職業能力開発協会会長表彰もあわせて実施。

（2）催事

①実演コーナー

- ・各技能関係団体による実演
 - ⇒【初】マグロ解体ショー（（一社）鳥取県日本調理技能士会）
 - 銅板・真ちゅう板で折り鶴・亀等の製作実演（鳥取県板金工業組合）ほか

②体験教室

- ・各技能関係団体によるものづくり体験教室
 - ⇒【初】カンナ削り体験（鳥取県建築連合会）
 - ミニ畳づくり（【初参加】鳥取県畳振興協同組合）ほか
- ・ITプログラミング教室（【初参加】（株）アクシス）
- ・高校生によるものづくり体験教室
 - ⇒鳥取工業高校：自転車発電でかき氷づくり
 - 【初参加】智頭農林高校：曲げわっぱづくり

③パネル展示

- ・鳥取県知事表彰受賞者等の紹介パネル（鳥取県）
- ・【初】「鳥取県若年技能者等技能承継推進事業（当課委託事業）」の紹介パネル
 - ※若年技能者の確保及び育成等を支援し技能承継を推進することを目的として実施
 - （委託先：鳥取県若年技能者等技能承継推進協議会）ほか

7 当フェアへの支援について

各技能関係団体が実施する実演及び体験教室に要する材料費等の経費の一部を補助している。
（補助金名：とっとりの技能魅力発信事業補助金、H29予算額：100万円）